

## A分科会

スポーツ少年団と芝生化？ スポーツ少年団と地域スポーツクラブのかかわりの視点から？

座長 / 米谷正造

パネリスト / 関口昌和・徳嵩淳一・中野淳一

A分科会のテーマは「スポーツ少年団と芝生化」。校庭やグラウンド、空地の芝生化により、青少年のスポーツ環境が全国的に整備されつつある中で、スポーツ少年団も地域スポーツクラブや学校と協力しながら、主体的にこれにかかわっていくべきではないかという主旨で、川崎医療福祉大学教授・米谷正造氏を座長に、3人のパネリストが発表をしました。

まず広島県北広島町教育委員会職員の関口昌和氏から、町を挙げての芝生化の取り組みについて発表がありました。芝生の維持・管理体制、生長の様子、芝生化による人々の変化のほか、芝生化のメリットについても触れられ、一方デメリットはほとんどないとのことでした。

東京都で初めて校庭の全面芝生化を実施した杉並区の教育委員会職員である徳嵩淳一氏からは、エコスクール（環境共生型学校）の取り組みと、その中で行われている芝生化について発表がありました。校庭の芝生化によって、子どもたちが校庭に出て遊ぶことが増えた、群れ遊びができるようになった、保護者が芝生の維持・管理のために協力的になったなど、さまざまな変化が見られたことが報告されました。

鳥取大学農学部准教授で、専門技術・機械を必要としない低コストの芝生造成方法「鳥取方式」を考案した中野淳一氏からは、各地域に合った芝生化のポイントについて発表があり、ひとり当たりの芝生面積や利用目的に見合った芝生の管理方法についても話がありました。

最後に参加者との協議が行われ、芝生化の詳細に関する質問や建設的な意見、実践例が発表されました。